



Creative Application A07

美術思想史2: 美の諸説 - 表現者の追うもの

2023年度

渡邊 賢悟 (渡辺電気株式会社)

受講のてびき

- ・ 本資料は作成者の解釈が含まれます
解釈違いや、答えのない議論があります
- ・ 前半：1テーマの座学
- ・ 後半：テーマを深める質問と考察
- ・ 気になる点をメモして受講してください

資料の見方

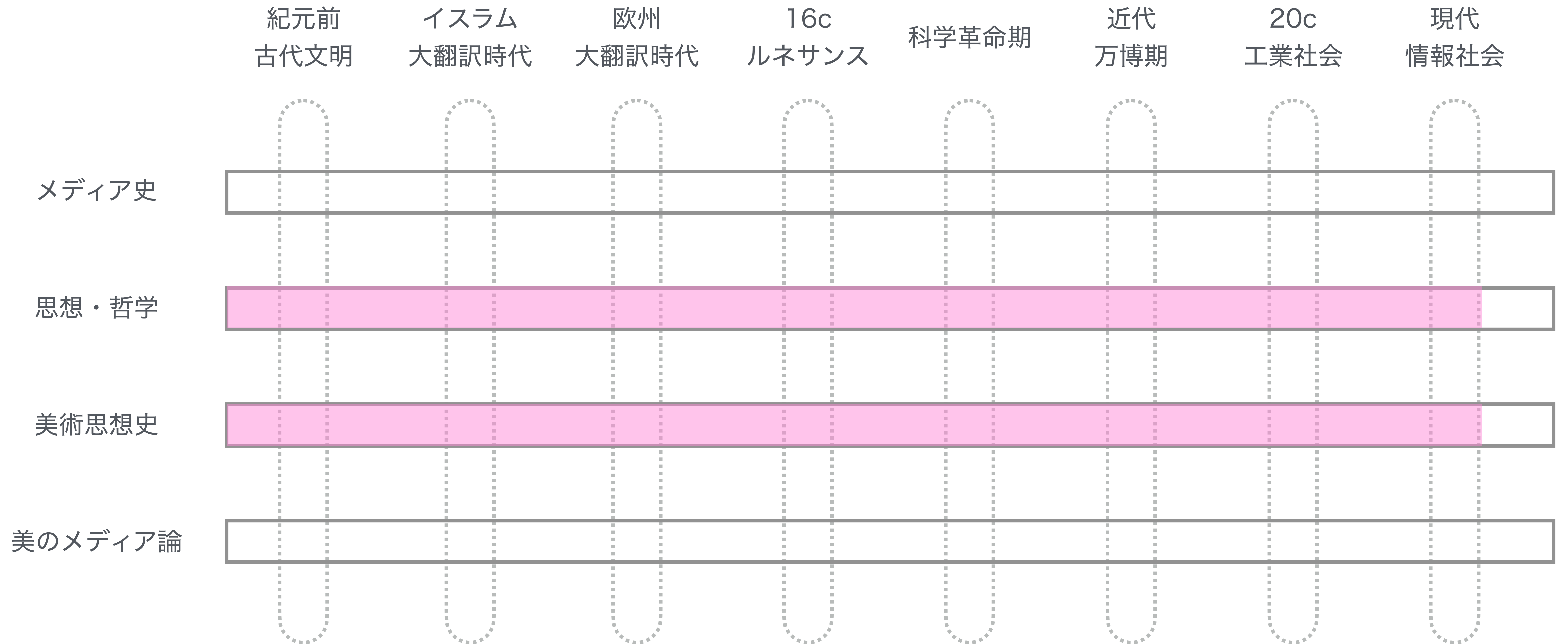
テーマに沿った項目
(座学で説明します)

左の内容に関連した
補足キーワード
(調べ物に役立ててください)

本日のテーマ

- ▶ **美の主観性の深くに眠る，普遍性と心**

演習の領域



表現のメディア化と美

- ▶ **表現のメディア化**
 - ▶ 個人の内的感覚をどうアウトプットするか
 - ▶ アウトプットを受ける他者との結び
 - ▶ 別の個人と自分の思考を結びつける共通点
- ▶ 共通点のヒント → **美**について考察

美の諸説1 - 美は完全なものの一部

- ▶ **イデア論における美**
 - ▶ 完全なイデア界と，不完全な現実世界
 - ▶ 完全に憧れるが，一切触れられない
 - ▶ **美は，現実でイデアを感じる窓口**
- ▶ **ヴァザーリのディセーニョ**
 - ▶ 芸術家 = **美**を現実に作りだせる職人

関連キーワード

- プラトン, 中期イデア論, 想起説, 実在
- アカデミア・プラトニカ
- イタリアルネサンス, 新プラトン主義
- アルベルティ, ヴァザーリ, 「列伝」
- ディセーニョ, デッサン, デザイン
- ボッティチェリ, ダヴィンチ, ミケランジェロ, ラファエロ, ジョルジョーネ, ティツィアーノ



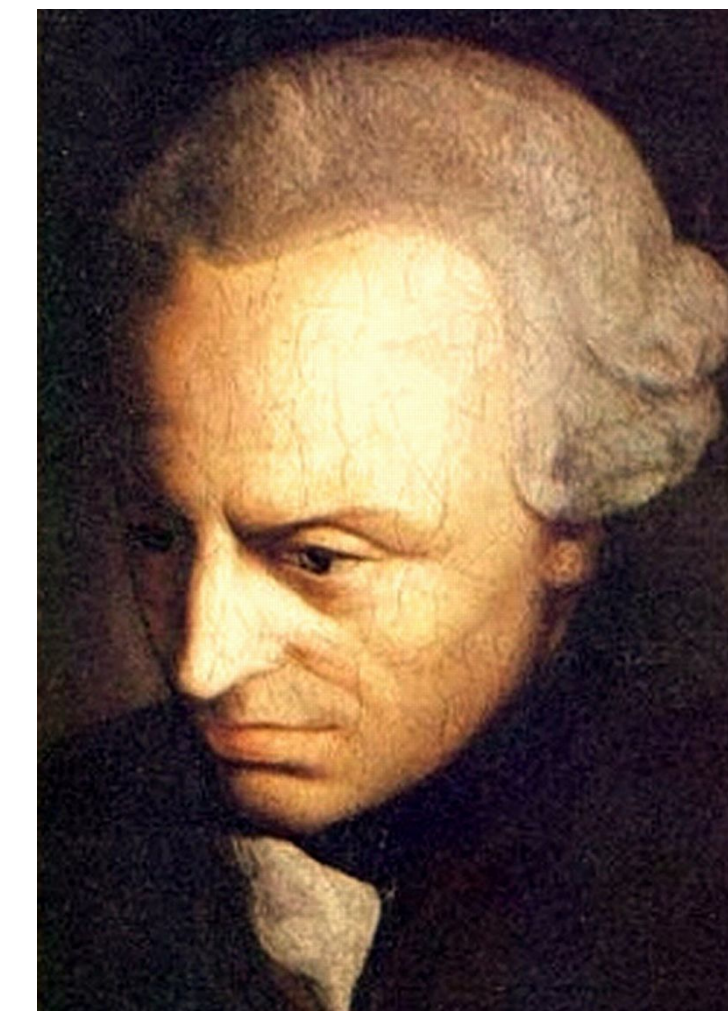
美の諸説2 - 西洋の美学・主観と普遍

- ▶ **美学の提唱・個人の思考(主観)の美**
 - ▶ **美学**：可知(知性)に対する可感(感性)の学問
 - ▶ **美**の認識は個人の快不快による
 - ▶ **美**は主観的だが，他人にも共有される

- ▶ **美の主観性と普遍性**が示される

関連キーワード

- バウムガルテン, 「美学」, 「形而上学」
- Beauty, Aesthetica
- 認知, 知覚, 認識
- カント, 「判断力批判」, ヘーゲル
- 趣味判断, 美的判断, 合目的性
- 存在論, 認識論的転回
- フッサール, 美的客観性



美の諸説3 - 日本の美意識

- ▶ **“あはれ”や幽玄にみられる美意識**
 - ▶ 言葉に表れず，心を揺り動かす
 - ▶ 物事の趣が奥深く図り知れない
 - ▶ 和歌，茶道，能，俳句，文学などに影響

- ▶ **見えない，深い，無い…に感じる心情の尊重**

関連キーワード

- 紀貫之, もののあはれ
- 幽玄, 余情(よせい)
- 正徹, 仏教思想, 禅
- 世阿弥, 「動十分心動七分身」, 余白
- 松尾芭蕉, 千利休, 侘び寂び
- 本居宣長



美の諸説4 - 美とメディアの議論

- ▶ **美**を伝えるメディアの考察・不明点
 - ▶ 普遍的な**美**はなぜ共有できているのか
 - ▶ “ない”がメディア化して**美**を感じる日本

- ▶ 東西問わず,
 - 美**を共有するメディア化が発生している

関連キーワード

- マクルーハン, 「光もメディアである」
- メディア・サイクル, メディア化
- 主客分離と主客不可分
- 西欧と東洋の文化考察
- 有無, 存在と非存在

美の主観性の深くに眠る，普遍性と心

- ▶ **美**は多様で個別でありつつ，なぜか共有できる
 - ▶ 完全への窓口としての**美**
 - ▶ **美**は個人の判断で，主観から逃れないが…
 - ▶ 無意識に共有されている普遍的な**美**

- ▶ **メディアで共鳴する，**
主観的な**美**が秘める普遍的な情動

本日の議論・考察一助

- a. 社会実装において、美はどのような役割を果たしているか
- b. カワイイと美の共通点、相違点はなんだろうか
- c. 美の応用事例は、どのようなものが挙げられるか
- d. その他、今回の内容で深めたいところがあれば

次回予定

- ▶ **思想と哲学1：ゼロという概念**

参考文献

1. 伊東 俊太郎, 「十二世紀ルネサンス」, 講談社学術文庫, 2006
2. 高階 秀爾, 「ルネッサンスの光と闇」, 中公文庫, 1987
3. バウムガルテン著, 松尾大訳, 「美学」, 講談社, 2016
4. 岡本 裕一郎, 「いま世界の哲学者が考えていること」, ダイヤモンド社, 2016
5. 竹田 青嗣, 「現象学入門」, NHK出版, 1989
6. 西垣 通, 「AI原論 神の支配と人間の自由」, 講談社選書メチエ, 2018
7. マルクス・ガブリエル著, 清水 一浩訳, 「なぜ世界は存在しないのか」, 講談社選書メチエ, 2018